

第2回「ATAMI2030会議」

熱海リノベーションまちづくり実行委員会

日時 平成29年8月23日(水)

18:00～20:30

場所 naedoco

銀座町6-6 サトウ椿ビル2F

昨年度熱海市では「リノベーションまちづくりと融合した創業支援による地域活性化」事業の一環として、リノベーションまちづくり構想を策定しました。

本年度は策定した構想を実現に移すべく不動産オーナーや有識者による委員会を設置し、年度5回の公開型会議を開催いたします。この会議は、市民や民間事業者、創業希望者など様々な方にご参加いただき、2030年を見据えた熱海の「暮らし」「仕事」「ツーリズム」を考え、行動に移すきっかけの場になりたいと考えています。

第2回目は「現代と公共空間」をテーマに、ゲストによるトークや事業者によるミニトークを行った後、会場を交えた意見交換を行いました。

○次第

1. あいさつ・・・熱海市観光経済課長 立見 修司
2. 今回テーマの説明・・・熱海市観光経済課産業振興室 主任 小林 久紀
3. ゲストトーク「自分たちの公共空間をつくろう」
設計事務所OpenA代表、東京R不動産ディレクター 馬場 正尊 氏
4. 実践者ミニトーク
NPO 法人あたみオアシス21代表 中島 美江 氏
海辺のあたみマルシェ事務局長 戸井田 雄 氏
ATAMI2030子ども会議ファシリテーター 齋藤 めぐみ 氏
参加者熱海市立第2小学校4年 片山 玲那 氏
5. 会場も交えた意見交換

○内 容

まず初めに、第2回「ATAMI2030会議」の開催にあたり熱海市観光経済課長立見からの挨拶に続き、市の担当者から今回のテーマ設定、「現代と公共空間」の説明が行われました。

その後、ゲストトークとして「自分たちの公共空間をつくろう」と題し、設計事務所OpenA代表、東京R不動産ディレクターの馬場正尊氏による、公園や公営住宅等の活用方法をお話いただきました。

その後、実践者ミニトークが行われ、NPO 法人あたみオアシス21代表の中島美江氏による、起雲閣の管理・運営等のお話いただきました。その次に海辺のあたみマルシェ事務局長戸井田雄氏に、海辺のあたみマルシェ開催趣旨等をお話いただきました。最後に8月9日に開催された ATAMI2030子ども会議(テーマ:小山臨海公園の新しい活用)にてファシリテーターを務めた齋藤めぐみ氏および参加者の熱海市立第2小学校4年片山玲那氏から当日の開催趣旨および感想等のお話をいただきました。

休憩後、小グループに分かれ感想共有を行った後、委員を含め約100名の参加者による意見交換が行われました。

内田委員からは、市内中心部に圧倒的に足りないものが椅子・机・屋根だと感じている。人が立ち止まれる場所がない。人が立ち止まらないことには消費が生まれず賑わいが生まれずと思っている。また、前回に引き続き芝生だが、芝生もまったくない。芝生を最高級の華やかな椅子と考えるとやっぱり椅子・テーブルが足りない。親水公園のイベントをいろいろとやらせてもらうが、椅子とテーブルを撤去した瞬間賑わいがなくなり、事業者しかいなくなる。どうにかお洒落な形で椅子・テーブル・屋根(含む芝生)を行政と民間が手を携えて作り上げたい。また、そこには飲食(含むアルコール)を提供する場所が近くにないと消費が起こらない。場所はいくらでもあると思う。あとは規制とやる人が現れるかどうかの問題だと思う。ぜひコペンハーゲンのように軒先にお洒落な椅子・テーブルを簡単に出せるよう行政はお金がかからないと思うので、まず知恵とガイドラインを出せるようにしてもらいたいと感じた。

江口委員からは子ども会議は子どもの観点から見た夢があるプログラムだと思った。私も大学で学生相手にキャリアや就職アドバイスの仕事をしている。その関係で11月に熱海について学習院大学で話し合うプチ会議を授業として行っていただけのことになった。

→キャリア教育において、彼らがこれからテーマの一つとして考えることが地方創生とかまちづくり・ものづくり、そういう観点で企業や社会を選んだ方がよいとアドバイスしている。その際には一方的に大人の経験値によって行うのでは駄目で、自分たちはどう思うとかワークショップ形式で行ったり企業の人事に入ってもらったり、色々な人に参加してもらい意見を言い合う講義をしている。(学習院大学キャリアセンター長 淡野氏)

水野委員からは子ども会議に評論の立場で参加させていただき、子供たちにこういう機会があるということは本当に必要であると痛感した。大人になって考えるのではなく子どものころから公共空間の活用を考える機会は重要だし、大人たちがこういう場を用意することが重要であると感じた。子ども会議については定期的に開催していくことが必要で子供たちにちゃんと伝えていくことも重要であると思った。また、お寺もお寺や檀家さんだけのものではなくオープンにしていくことが必要だと思っている。夜のお堂の活用も考えていかなければと思っている。住職である父に話すも管理等の問題ですぐにNOという返事だった。しかし、きちんと話をしたところ理解を得られた。これからは、PPP エージェントではないが、言語(やりたいことや思い)を伝える能力が必要になると思う。

その他意見

- ・沼津で自由ウェディングをやっているが、公共施設を希望される方がいる。行政にお願いに行くがまず壁となるのが、その施設を管理している人たちにちょっとと言われることが多い。管理している人達はやったことがないことを恐れるので、そこを突破することを考えなければならない。行政の方にも知っておいてもらいたい。
- ・広告や媒体の仕事をしており熱海にはマンションを購入した。SNSとか上手く活用できていないよいことをやっている企業が数多くあると思っており、希望があればSNSの使い方講座をぜひやらせてもらいたいと思っている。なぜなら大好きな街だからです。また、観光地としてどんどん整備されているが、住む人にとっての裏路地等まだまだ整備が行き届いていない。椅子や芝生はもちろんやりたいが、そのまちに佇むにはキレイであることが重要だと思う。かつて原宿の裏通りは汚かったが壁等フォトジェニックなポイントに変えたことにより人が集まるだけでなく、路上のごみが減るなど効果もでている。まちづくりとともに意図的にフォトジェニックポイントを作るなど関わっていきたいと思った。
- ・アクティブシニアを首都圏から移住促進しているグループをやっている。去年は64人移住した。その中の約2割が首都圏に戻っている。原因としては衣料品など買う店がない、水道代が都内の約10倍、思った以上に魚がおいしくない等多々あるが、すべてに対応していたらキリが無い為まずは、人を増やすこと、税金を増やすことを行っていきたい。2030会議と両輪となり熱海のリノベーションを行いたい。そしてお年寄りと若者が手を取り合いよりよい熱海にしたい。
- ・PPP エージェントが熱海に必要なではないかと思っている。公共の土地が余っていると言いながらもどうすれば借りられるかわからなくて、苦労している人がいる。一気通貫でできる人場所があると助かる。
- ・銀座町は賑わいが出ている。しかし山の手の別荘地は賑わいではなく閑静なエリア。別荘地までの道路をただ歩くだけではなく、公共空間として活用して、フォトジェニックポイントやアートポイントを作ることが今日の講演を聞いて可能ではないかと思った。